

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23 電話 東京 03(3581)6211(代表)〈毎週火曜日発行〉

(昭和30年6月15日第三種郵便物認可)

自由民主党ホームページ

URL <http://www.jimin.jp/>



札幌市東区版

平成23年3月5日(土曜日)発行 号外

札幌市議会議員

けん ゆう



すずき健雄

さん

一人ひとりの暮らしを守り、ぬくもりと潤いのある東区に。

元気と活力をさっばろに!!

鈴木健雄市議は札幌市議会議員として4期16年のキャリアを持ち、建設委員長や自民党議員会幹事長を務めた手腕は折り紙つきです。対話を重視し、何事にも真剣に取り組む姿勢で地域の人たちから抜群の信頼を勝ち得ています。今期は議員会会長として会派を束ね、上田市政に真っ向から対峙(たいじ)して評価を高めました。

今春の統一地方選挙に向けては「一致結束して市長選・市議会議員選に勝利を」と語り、新しい札幌市を実現して「まず東区を元気にしたい。飛躍する東区を札幌市再生の象徴に」と力強く話しています。

私の決意

コンクリートから「人へ」ではなく「生活保護へ」ともいえるこの行きすぎた削減はいったい何のため、誰のためのものだったのでしょうか。上田市政の財政削減は実際に多くの人の生活をおびやかしています。札幌市では現在、介護認定を受け、介護施設に入所を希望しながらできないという待機者が六千名にものぼっています。「コンクリートから人へ」と言いながら、

八年間にわたる上田市政がもたらしたものは何だったのか。何かを生み出すのではなく、守りの姿勢に入っただけのためにひたすら失われ続けた八年ではなかったかと、私は考えます。

上田市政は、何よりも財政削減を優先しました。最低限必要とする公共事業まで極端なほどに削減され、経済対策、景気対策、雇用問題に寄与するような施策に評価すべきものはないと言っても過言ではありません。コンクリートから人へ」というキャッチフレーズのもとに国も札幌市も公共事業を大幅に削減した結果、多くの失業者を生み、生活保護受給者を激増させ、財政を圧迫するという悪循環さえ生み出しました。

札幌の公共事業費は十八政令都市の中で最下位であり、市民一人当たり三万九千円という数字は第一位の静岡市の九万三千円の四割足らずです。

本間奈々さんは行政・地方自治のエキスパートです。私たちは本間奈々新市長と手を携えて、まず、財政再建一辺倒ではなく、弾力的な費用対効果を重視し、産業振興や雇用につながる財政運用を計ります。少子高齢社会に対応する福祉施策の充実が急務ですが、それ自体、経済を活性化させ新たに雇用を生み出すものと確信します。

また、TPP問題についても、実施されれば北海道農業の七割が経営困難に陥ると言われ、札幌市議会自民党議員会会長

本間奈々さんと一緒に元気なさっばろを目指します。

あまり人には優しくなく、とくに高齢者に厳しい行政なのではないでしょうか。さらに問題なのは、上田市政が札幌の将来を見据えた長期的ビジョンを持たない点です。札幌ドームも、創成川の連続アンダーパスも、モエレ沼公園やさくらんぼも、板垣・桂市長と私たちが十年先二十年先を見据えて策定し、実現にこぎつけたものです。先人の夢や知恵が「構想」として描かれ、しっかりと計画に支えられ、長い時間をかけて実現したものなのです。長期的計画を持つていない上田市政、景気・雇用を冷やすだけの守りの姿勢や、未来や次世代に残すビジョンを持たない上田市政の場当たり的な街づくりに私たちは「ノー」と言わなくてはなりません。

札幌市議会議員 鈴木健雄

札幌市議会自民党議員会会長

本間奈々さんと一緒に元気なさっばろを目指します。

本間奈々さんと一緒に元気なさっばろを目指します。

本気



すずき健雄のめざすもの

- 新幹線の札幌延伸、早期着工
- アジアの観光客を積極的に誘致
- 先端産業の育成で雇用を拡大
- 住宅の省エネ、バリアフリー化を助成
- 高齢者、弱者に優しい都市機能の強化
- 狭小道路、歩道の障害物の移設・撤去
- 苗穂駅周辺再開発で東区の活性化
- 東区来区画整備事業の計画年度内完成
- 丘珠空港の存続と周辺整備の継続
- 地下鉄駅周辺の駐輪場の確保
- 栄町駅を核とした北部交通網の見直し
- 待機児童解消に施設整備事業を推進
- 学童保育、放課後児童対策の推進
- 通学路・校内の安全強化
- 子供への医療費助成を拡大
- 夜間救急医療体制をさらに強化
- 介護施設の定員増と安全対策強化
- 独居高齢者、高齢夫婦世帯、日昼独居世帯への支援体制を拡充
- 入院等不在高齢者宅の除雪支援

札幌地方ラジオ体操連盟会長 すずき市議の努力が実る!

NHK 全国ラジオ体操会 1000 万人ラジオ体操祭 in 東区モエレ沼公園 (雨天時つどーむ)

2012年7月6時30分、東区モエレ沼公園から、NHKラジオの電波に乗って、全国デビューを果たします。

1000万人ラジオ体操祭がモエレ沼公園で実現するのです。

これは札幌地方ラジオ体操連盟会長すずき健雄市議の長年の夢でした。さわやかな札幌の夏。モエレ沼公園で行われるラジオ体操祭には全国津々浦々の支部から2万人近いラジオ体操ファンが押し寄せることでしょう。参加者は前日から札幌入りし、札幌に最低でも一泊して体操祭終了後、道内旅行を楽しむ人たちも、札幌経済の活性化となり、夏の北海道の魅力を全国に向け、世界に向けて発信するまたとないチャンスです。



交流拡大、観光客誘致に期待! 一韓国・大田市との姉妹提携に鈴木市議が一役

日韓議員連盟会長の鈴木市議は平成22年9月に札幌市議会で姉妹都市提携の決議をし、同年10月に大田市の訪問団を迎え調印式が行われました。ここに至るまで、鈴木団長の地道な努力があり、今後、両国の交流が益々盛んになり、札幌市の観光産業の発展につながるものと期待されます。